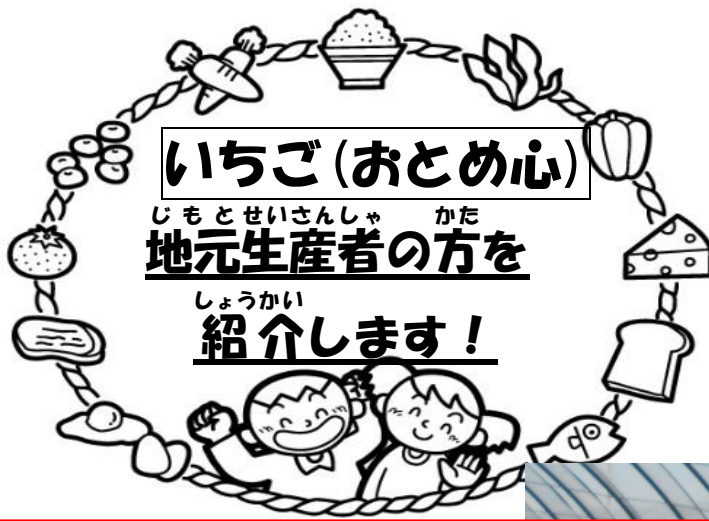


令和5年 5月



みぞのべ くみあい くみあいちょう  
**溝延いちご組合 組合長**

ごうのめ ひろゆき  
**江目 広幸 さん**



かほくちょう つく やまがたけん とくさん こころ  
 河北町で作る山形県の特産いちご「おとめ心」  
 は酒田市に次いで2番目の生産量を誇ります。  
 去年の10月3日に植えて、3月24日ごろから  
 収穫が始まりました。河北町の「おとめ心」は、  
 6月上旬まで楽しめます。この時期は、田植え  
 作業を行いながら、いちご作りをがんばっていま  
 す。「おとめ心」は実の形や色つやが良く、何よ  
 り、いちごの香りが強いのが魅力です。いちごを  
 置いただけで、部屋中に甘い香りが広がります。  
 みなさんが食べる時も、まずは香りを楽しんで  
 から、口に入れて噛んだ時の香りも感じながら、  
 味わって食べてみてください☆

**江目さんのいちごのハウスは3つ**



「おとめ心」のいちごのじくを長くするわけ  
 は、果実がやわらかいので、直接さわらず、  
 じくを持つようにして、果実の痛みをふせぐ  
 ためです。パック詰めするときも、かならず  
じくをつまんで入れるようにしています。



いちごの栽培には「高設栽培」と  
 「土耕栽培」があり、江目さんでは  
 「高設栽培」で、いちごを作っています。



いちこの水やりは3~4日に1回、午前中におこないます。  
 右の写真の青いホースが列ごとの畑につながっていて、放水できるようになっています。20~30分かけて、水やりをします。



いちこの快適な温度は、20度前後です。ここ数年は気温が高くなっているため、両側のビニールを開けたり、35度を超えると、天井から遮光幕をかけて、ハウス全体を覆い、温度を下げます。



ビニールハウスの隣では、いちこの苗をたくさん育てていました。中央にある親苗の「ランナー」が伸びて、黒い部分のエリアにまで苗が次々に増えていきます。5月から9月までに、たくさんの苗を作っていきます。